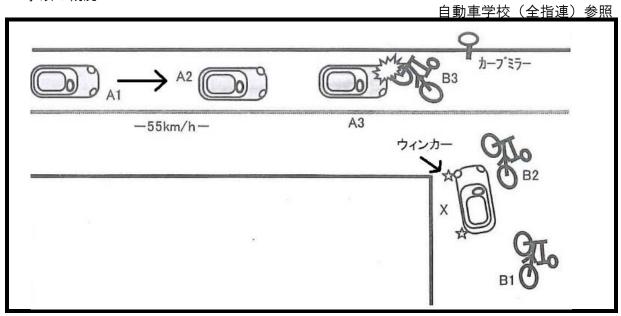
■事故の概況



事故類型:出会い頭衝突

発生日時:12月 午前8時頃 晴れ 当事者A:普通乗用車 70歳代 男性 当事者B:自転車 中学生 男性

■ 事故の概要

Aは、時々通行する道路を時速約55kmで走行中、約20m先のT字路交差点右側の道路から左折しようとして停止しているX車を発見しましたが、特に注意することはしませんでした。交差点手前、約9mに近づいたとき、X車の陰から、B車が飛び出したのに気がつき、急ブレーキを掛けましたが間に合わずに衝突してしまいました。

Bは、毎日通行する見通しの悪い交差点で左折しようとしました。交差点で、左折のために待機しているX車を発見しましたが、登校中で急いでいたため、X車の右側を安全確認もせず、そのままの速度ですり抜け、大回りで左折しました。その時、交差点の見通しが悪く、かつ左折待機のX車が邪魔になり、A車は見えませんでした。大回りで交差点に進入した時、対向車線を走行してきたA車に気がつき、ブレーキを掛けましたが、間に合わず衝突してしまいました。

■ 事故から学ぶ

Aは、左折待機のX車を事前に発見しており、交差点内の状況を事前に把握するため、カーブミラーの活用を図っていれば、B車の飛び出しを事前に発見できた可能性もあります。

また、Bは、ただでさえ見通しの悪い交差点に左折待機車が止まっているにもかかわらず、安全確認もせずに飛び出すという無謀な行動をとるのは、大変危険な行為です。見通しの悪い交差点では、停止して安全確認を行う必要があります。左折待機車の右側を追い抜いて左折することは自分勝手な行動で、結果として道路右側を通行してしまったこともルール違反になります。